



澤田 留衣さん
Sawada Rui

〔有安区〕

さわだ るい / 甲佐中2年、
女子バスケット部所属。小学
4年生からバスケットを始め、
今秋実施された「U14ナショ
ナル育成キャンプ」に選出。

懸命にコートを駆けて跳び 世界を目指しゴールへ向かう

「全国から上手な選手が集まっ
ていてレベルの高い練習に取り
組むことができ、日本バスケの
課題についての指導と講義を通
して刺激を受けました」と振り
返るのは、バスケット選手の澤田
留衣さん

〔有安区・甲佐中2年〕

今秋、澤田さんは東京で開
催された中学生対象の全日本
育成合宿に参加。同合宿は、
世界に通用する選手の育成を
目指して年代に応じた体力強
化や技術指導を目的に、日本

バスケットボール協会が主催
九州地区の選考を通過して、
県内でただ1人選出された。
小学4年生からバスケット
を始め、ポジションは恵まれ
た身長を活かしてセンターで
活躍。10月に行われた郡新人
戦では、攻守の要として甲佐
中女子チームを引っ張り、優
勝の原動力となった。
「日本人選手は海外の選手
に比べて小さいため、世界で

戦うには、身体を使って厳し
く相手に当たる必要があります。
そこを重視した合宿内容
でした」と澤田さん。「身体
の動かし方など普段ならでき
ているプレーが、身体の大
きな選手を相手にできません
でした」と今後の課題を語る。

現在175センチの長身を活か
したプレーとともに「スピー
ドでは負けません」と、自ら
の強みを分析する。一生懸命
で、ひたむきにがんばるその
姿勢は、ほかのチームの指導
者からも評価されるほどの存
在感が光り、ひとつひとつの
プレーに全力でぶつかり、た
くましく挑戦を続ける。

常にチームメイトと話し合
い、足りないところを補う練
習メニューなどを工夫してい
る。「自分1人ではプレーで
きません。5人そろってみん
なで協力してプレーできるの
が、バスケットの魅力です」
とチャームニングに話す。

「応援される選手になりた
いです。一生懸命にすること
を大事にしたいです」と目標
を語る澤田さんの目は、世界
を見据えている。

広報 こうさ

2017年（平成29年）12月号
通巻581号